

**製品名: NDUFS5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14517**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	15kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFS5
別名	NDUFS5; NADH dehydrogenase [ubiquinone] iron-sulfur protein 5; Complex I-15 kDa; CI-15 kDa; NADH-ubiquinone oxidoreductase 15 kDa subunit
遺伝子 ID	4725.0
SwissProt ID	O43920
免疫原	抗血清はヒト NDUFS5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 57-106

**背景**

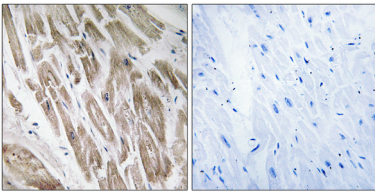
この遺伝子は、NADH 脱水素酵素 (ユビキノン) 鉄硫黄タンパク質ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は、ミ

トコンドリア内膜に位置する電子伝達系の最初の酵素複合体である NADH: ユビキノン酸化還元酵素 (複合体 I) のサブユニットです。選択的スプライシングにより複数の転写産物バリエーションが生じ、1 番染色体、4 番染色体、17 番染色体上に偽遺伝子が同定されています。[RefSeq 提供、2010 年 5 月],機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニットで、触媒作用には関与していないと考えられています。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。類似性: 複合体 I NDUFS5 サブユニットファミリーに属します。サブユニット: 哺乳類の複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。これは酵素の鉄硫黄 (IP) フラグメントの成分です。

## 研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

## 画像データ



NDUFS5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。